

MySQL 5.5.15 リリースノート（日本語翻訳）

機能の追加または変更

- [pererror](#) について未記載だった--all オプションは非推奨となっており、MySQL 5.6 では削除される。

修正されたバグ

- **InnoDB ストレージエンジン:** InnoDB テーブルに対する CREATE INDEX 操作が失敗すると、一部のメモリが割り当てられたまま解放されない可能性があった。このメモリリークが、ROW_FORMAT=DYNAMIC または ROW_FORMAT=COMPRESSED 設定で作成されるテーブルに影響する可能性があった (Bug #12699505)。
- **InnoDB ストレージエンジン:** InnoDB テーブルに対する DROP TABLE 操作はテーブル圧縮、パーティショニング、大きなバッファープールの設定が組み合わさると、非常に遅くなる可能性があった (Bug #12635227、Bug #61188)。
- **パーティショニング:** パーティションドテーブルの自動増分のカラムが、書き込まれていないときにもチェックされていた。デバッグビルドでは、これが原因でサーバがクラッシュする可能性があった (Bug #11765667、Bug #58655)。
- **パーティショニング:** パーティションを取り除く目的で、[UNIX_TIMESTAMP\(\)](#)関数が単調関数として扱われていなかった (Bug #11746819、Bug #28928)。
- **gcc 4.6** 以降では、保守用モードを有効にしてサーバをコンパイルすると失敗した (Bug #12727287)。
- 空文字列のオプション解析コードによってメモリリークが発生した (Bug #12589928)。
- 以前は、クラスタ化されたプライマリキーを持つ InnoDB テーブルに対するマルチテーブル更新によって、複数のエイリアスを通じてテーブルを更新し、少なくともそのエイリアスの 1 つで物理的に行が移動されるような更新を実行した場合、不適切なエラーメッセージが生成された。現在は次のようなメッセージが表示される。Primary key/partition key

update is not permitted since the table is updated both as 'tbl_name1' and 'tbl_name2' (Bug #11882110)。

Bug #11764529 も参照。

- レプリケーション: [LOAD DATA INFILE](#) ステートメント (ステートメントベースのレプリケーションを使用して複製された) で [SET](#) 句を使用すると、主として [EXPLAIN EXTENDED](#) などのステートメントに対して出力を生成するためのメソッド (Item::print()) を使用して、名前/値ペアが再生成された。これに依存して有効な SQL を返すことはできず、場合によってはスレーブがクラッシュすることがあった。

この問題を修正するために、サーバはユーザ指定の独自形式で各値に名前を付けるようになり、ステートメントベースのレプリケーションにはその値を使用して [LOAD DATA INFILE](#) ステートメントを作成するようになっている (Bug #60580、Bug #11902767)。

Bug #34283、Bug #11752526、Bug #43746 も参照。

- 新旧どちらのバージョンのテーブルも、カラムのデータタイプに関して構造がまったく同じである場合に、[ALTER TABLE {MODIFY|CHANGE} ... FIRST](#) がカラム名の変更しか行わなかった。その結果、カラム名とカラムデータのマッピングが正しくならなかった。古いバージョンとまったく同じ構造で新しいバージョンのテーブルを生成するための [ALTER TABLE DROP COLUMN ... ADD COLUMN](#) ステートメントでも、同様のことが発生した (Bug #61493、Bug #12652385)。
- [FLUSH TABLES WITH READ LOCK](#) で、事前ロックが必要なステートメントのメタデータロックが正しく処理されないために、2つの問題が発生していた。
 - トランザクションの一部として、事前ロックを必要とする (つまり、ストアドファンクションまたはトリガを伴う) データ変更ステートメントを実行すると、同じトランザクションで以降のステートメントがすべて、いくらか遅くなった。このようなステートメントを定期的に伴うトランザクションでは、時間の経過とともにパフォーマンスが徐々に低下していた。
 - トランザクションの一部として事前ロックを必要とするデータ変更ステートメントを実行すると、特定のステートメントの最後で

はなくトランザクションの最後まで、同時の [FLUSH TABLES WITH READ LOCK](#) が処理されなかった。

(Bug #61401、Bug #12641342)

- MySQL のステータス出力（たとえば、[mysqladmin status](#) や [mysql](#) の STATUS コマンドからの出力）で、「Queries per second（1 秒当たりのクエリ数）」値の小数点以下が正しく表示されていなかった（Bug #61205、Bug #12565712）。
- ファイルシステムでデータファイルの相対パス名が 3 階層を超える場合に [LOAD DATA INFILE](#) がそのパス名を正しく解析できず、結果的にファイルが見つからなかった（Bug #60987、Bug #12403662）。
- 不明なユーザについて、ネイティブのパスワードプラグインからのレポートが誤っており、実際には指定されていてもパスワードが指定されなかったとレポートされた（Bug #59792、Bug #11766641）。
- [MyISAM](#) テーブルで、インデックス付きの GEOMETRY カラムに誤ったデータを挿入しようとする、テーブルが破損する可能性があった（Bug #57323、Bug #11764487）。
- デバッグビルドで、Field_new_decimal::store_value() がバッファオーバーフローの危険性があった（Bug #55436、Bug #11762799）。
- データベース名で限定された名前を使用するストアルーチンのロードと、そのデータベースの削除の間に競合があるため、以下のような誤ったエラーメッセージが出力された。The table mysql.proc is missing, corrupt, or contains bad data（Bug #47870、Bug #11756013）。

※本翻訳は、理解のための便宜的な訳文として、オラクルが著作権等を保有する英語原文を NRI の責任において翻訳したものであり、変更情報の正本は英語文です。また、翻訳に誤訳等があったとしても、オラクルには一切の責任はありません。